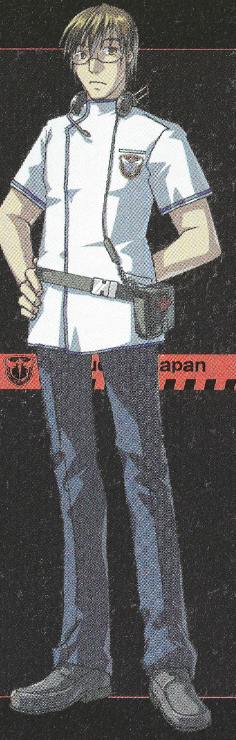




若き外科医

月森孝介

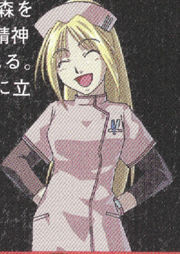
恐るべき力、超執刀の素質を眠らせている26歳の若き外科医。幼少のころ、父親を病で失い、そのことがきっかけで医師を目指す。まだ自信がないせいか頼りなげな言動が多く、看護師たちに叱られる日々を送るが、ギルスに侵された感染者を目の当たりにし、日本カドゥケウスへと入局する。

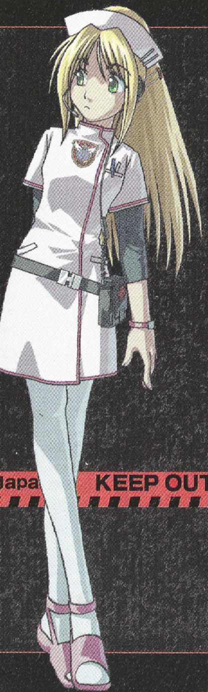
KOUSUKE TSUKIMORI

エリート看護師

利根川アンジュ

ドイツ人の血を引く21歳のクォーター。手術助手としての最高資格、国際看護資格（WNNS）を持つエリート看護師。卓越した知識で担当外科医である月森をサポートするが、若さゆえか精神的に未熟な面が垣間見られる。月森とともに医療の最前線に立ち、彼女もまた成長していく。





ANGE TONEGAWA

HISTORY OF CADUCEUS

1970年代後半

人為的に発生したペストテロがきっかけとなり、WHOの完全統制の下、その被害の中心であったヨーロッパにて、人類の驚異となる伝染病や新型の疾病、人為的なバイオテロと戦う組織、カドゥケウスが発足。

1980年

厚生省の管轄として、世界で8番目のカドゥケウス機関が日本に発足。

2007年

「より強く現実的な医療機関を」と、厚生労働大臣日比谷克巳氏が政府に強く働きかけ、カドゥケウス機関を行政法人として独立させることに成功。日本カドゥケウスと呼称をかえ、国家の判断を仰ぐことなく、疾病や医療危機に対する特務を独自で実行する権限を得る。

2011年

アジアを震撼させた劇症型H5インフルエンザへの防疫策や、積年の問題とされていたエイズウィルスへの有効策を発見した日本カドゥケウスが、世界の5大医療機関に名を連ねる。

2018年

新たな脅威が人類に影を落とした。
若き外科医月森孝介を筆頭に、
日本カドゥケウスと
寄生生命体ギルスの
戦いがはじまる……。

